

平成30年度 2年 進路指導計画表

石川県立小松高等学校

	<p>将来の進路について、夢や将来の進路希望からより具体的な目標を設定し、その実現にむけて広い視野とより高い学力を育成し、高校生活を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望学部・学科の決定 ・授業の重視、家庭学習の充実 ・得意科目の養成 不得意科目の克服 			
4月	<p>第1回校内学力テスト (10日) 教科オリエンテーション(11日) 進路志望調査(13日)</p>	個人面接 進路についてのLH	<p>家庭学習時間の確保 (通年) 予習、復習の徹底 (通年) 志望する学部・学科およびその具体的内容を把握させる</p>	
5月	<p>中間考査 (15～18日) 進路の手引き配付</p>		<p>進路の手引きをもとに、自己の進路実現に対して何が大切かを考えさせる</p>	
6月	<p>総体・総文(5/31～6/3日) 修学旅行(6～9日) 第1回校内模試 (13日) 期末考査 (25～29日)</p>		<p>校内模試による日頃の学習のあり方および自己の学力の点検をさせる</p>	
7月	<p>進研記述模試 (7日) 保護者懇談会 (18・23日) インターンシップ 夏季補講 (19～24日)</p>		<p>外部テストにより、全国レベルでの自己の学力の位置を確認させる</p> <p>志望大学・学部学科の内容や将来の希望職業を体験させることにより、イメージを明確なものとすると同時に、自己のあり方・生き方について考えさせる</p>	
8月	<p>オープンキャンパスへの参加 大学見学会 (2・3日) 夏季補講 (21～27日) 学研ハイレベル模試(18日)</p>		<p>志望大学の模擬授業・模擬実験を体験することにより、進路意識の高揚を図る</p> <p>東京方面の大学を見学し、卒業生と懇談することにより、進学意識を高める</p> <p>不得意科目の克服・得意科目の養成、国・数・英の基礎学力の育成を目指す</p> <p>全国の難関校を目指す生徒のなかでの自己の位置を理解させ、さらなる奮起につなげる</p>	
9月	<p>第2回校内学力テスト(4・5日) 進路志望調査(4日) 保護者向け進路説明会(29日)</p>		個人面接 進路についてのLH	<p>夏休みに計画的な自主学習力ができたかどうかを確認し、自己の学力の点検をさせる</p> <p>卒業生のデータを基に自己の可能性を探り、今後の学習計画について考えさせる</p> <p>志望学部・学科の試験科目・配点等について認識させる</p> <p>保護者に対して学部・学科や入試全体についての説明を行う</p>
10月	<p>中間考査 (9～12日) 進研記述模試(27日)</p>			<p>高い進路希望を持ち、その実現にむけた学習法を考えさせる</p> <p>外部テストにより、全国レベルでの自己の位置確認と成績動向の確認をさせる</p> <p>校内模試、外部テストの成績を利用して、志望大学、学科を検討する</p>
11月	<p>オープン・スクール (3日) 期末考査 (11/28～12/4)</p>			<p>本校の教育活動と日頃の生徒の学習状況を公開する</p>
12月	<p>保護者懇談会 (20・21日) スーパーゼミ (25～27日)</p>	<p>志望学部・学科に対する保護者の意志確認をする</p> <p>難関校を目指した学習を確立し、高い進路意識を持たせる</p>		
1月	<p>第3回校内学力テスト (7・8日) 進路志望調査 (10日) 3年0学期結団式 (10日) 進研記述模試 (19日)</p>	個人面接 進路についてのLH		<p>冬休みに計画的な自主学習ができたかどうかを確認し、自己の学力の点検をさせる</p> <p>志望する学部・学科およびその具体的内容について考えさせる</p> <p>進路決定への重要な橋渡しになる時期と捉え、学年全体で進路実現のイメージを明確にさせる</p> <p>外部テストにより、全国レベルでの自己の位置確認と成績動向の確認をさせる</p>
2月	<p>第2回校内模試 (1/31～2/1日) 進研早期対策マーク模試 (9日) 駿台東大レベル 模試(最難関大志望者) (9日) 学年末考査 (22～28日)</p>		<p>自己の進路の実現にむけて2年次における学習到達度の点検をさせる</p> <p>マークシートの記入の仕方や教科ごとの達成度やバランスを確認させる</p> <p>全国の難関校を目指す生徒のなかでの自己の位置を理解し、高い目標に挑む心構えを構築させる</p> <p>高い進路希望を持ち、その実現にむけた学習法を考えさせる</p>	
3月	<p>スプリングゼミ(25～27日)</p>		<p>学力定着度を確認し、3年次への積み残しがないように春休みを効果的に活用する</p> <p>特に1・2年次に習ったことの基礎ができているかどうかの重要性をしっかりと認識させる</p>	